これでいいのか！？堺消防署の跡地活用

４億円でリフォーム？

昨年秋に出島に移転した堺消防署。当局は跡地を「都心部における拠点」としながらも、まだ活用方法は未定で空き家状態。移転決定は5年以上前なのに悠長なものです。そしてようやく今年、老朽化した建屋を約4億円かけてリフォームする方針を示しました。

リフォームして何をする？

「賑わいや交流が生まれる機能」を導入する、その一案が、吹きさらしの1階部分に芝生を敷いてカフェにするというもの。果たしてそんなことで賑わうのか疑問です。2階・3階部分は貸し会議室と宿泊施設という案も。魅力を感じますか？

たとえば図書館

私は跡地への堺区図書館の設置を主張してきました(下記QR参照)。他にも、老朽化した青少年センターの移設や、他市で見られるクリエイターの活動拠点、子育て広場、あるいは民間のテナントを借りている市役所組織の集約も考えられます。活用方法はいくらでもあります。

※2020.1.7作成のブログ
「堺区のど真ん中に図書館を」

まずは広く市民の声を

そもそも活用方法が決まる前から「リフォームありき」なのが問題です。建て替えれば7階建てで床面積は最大約4倍。活用の幅が広がります。まずはリフォームという前提を外し、ここにどんな機能が必要か、広く市民の意見を募った上でリフォームか建て替えかを判断すべきです。

**跡地活用
ご意見大募集**

LINE　メールアドレス

大和川リバーサイドサイクルライン開通

石川、大阪ベイサイドのサイクルラインを含め、南大阪に全長約70kmのサイクルラインが形成されました(右地図赤線)。大和川・石川の解放感ある景色の中、ぜひサイクリングを楽しんでみてください！

堺市HPより

ご意見をお寄せください！

FAX：072-320-0103
Mail：takeshi_fuchigami@yahoo.co.jp

議員の仕事は、市民の声を市政に届けること。まずは「聞くこと」です。
皆様のご意見、ご不満、お困りごと、何でもお聞かせください。政策立案に活用させて頂きます。

お名前：　　TEL：

住所：

※匿名でも結構ですが、ご連絡先をご記入くださいましたら、必ずお返事いたします。

フッチーのつぶやき（編集後記）

議員活動丸10年。イメージカラーのオレンジのものを身に着けていると「やっぱりオレンジね」と突っ込んでくださる(?)方も増えました。一方、妻は「夫婦で同じ色」と突っ込まれるのが怖くて、好きなオレンジ色の服を着られなくなったと、私にクレームを言っています。それ、私のせい？

堺市議会議員（堺区選出・無所属）　10周年！ご愛読に感謝！　2025春号

ふちがみ猛志（たけし）議会活動報告 Vol.40

活動情報発信中！

ふちがみ猛志　検索　Click！

- 1977年堺生まれ、堺育ち
- 妻 娘15才 息子13才 9才
- 堺市立錦小学校 卒
- 堺市立殿馬場中学校 卒
- 大阪府立三国丘高校 卒
- 神戸大学法学部 卒
- 堺市議会議員（3期目）
- 保護司　●養育里親
- 学生時代のアルバイトは宅配ピザ

※記事は2025年3月31日時点で作成したものです

HP　YouTube　LINE 公式アカウント　X（旧Twitter）　Instagram　ご意見・ご質問もコチラにどうぞ！

【ふちがみ猛志市政相談所】
堺区新町2-4 小山電ビル2F-A1
TEL/FAX：072-320-0103

もくじ　ぜひ2ページ目以降もご覧ください！

P2. 注目予算をPickUp!! / 低学年ほど経済的負担感大？
P3. 健康増進アプリで再議 / 資源ごみの持ち去り防止 等
P4. これでいいのか!?堺消防署の跡地活用

議員活動が丸10年に

年4回発行しているこの議会活動報告が、今回で第40号となりました。私が初当選してちょうど10年という節目を迎えたわけです。この間、定期的にこのチラシを作り続け、配り続けて来られたのは、たくさんのボランティアの方々や、今こうしてこのチラシを手に取り、目を通してくださる方々のおかげです。改めて心からお礼申し上げます。

選挙の前だけ頑張るような議員にはなりません。私はこれからも、堺市政と皆さんとをつなぐ議員として、『常に』活動し続けます。

10年前の初登壇。まだ初々しい？

令和7年度予算が成立

総額8380億円の令和7年度予算が成立しました。永藤市長が策定した「堺市基本計画2025」の最終年に向けての「集大成の予算」と位置付けたものです。と言っても、目玉となるような大規模なものは、小学校給食費の無償化くらい。それも、国が近い将来にやってくれる(市の負担でなくなる)という見通しが立って、慌てて打ち出したもの。しかも市民感覚からは理解しにくい「低学年からの段階的実施」です(詳細は2ページ目参照)。財政出動には相変わらず消極的で、教育予算が昨年度から5%減少しているのも残念です。

堺区全17校区で市政報告座談会

毎年、翌年度予算が判明する2,3月に堺区の全17校区で市政報告の座談会を開催しています。今年も参加者からたくさんのご意見を頂きました。確実に議会活動に活かします。ご意見は電話・メール・SNS等で常に承っております。また座談会もご希望があれば、少人数であっても個別に開催いたします。

座談会の様子

【令和7年度予算の全体規模】

一般会計 4,879億円
福祉や教育、道路整備等、基本的な会計

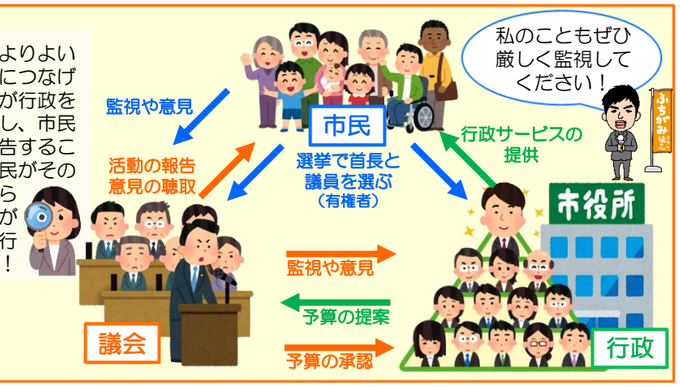
特別会計 2,598億円
国民健康保険や介護保険等の固定事業の会計

企業会計 903億円
水道事業など公営企業の会計

総額 8,380億円!!

赤ちゃんからお年寄りまで
市民1人あたり約100万円以上！

膨大な予算をよりよい行政サービスにつなげるには、議員が行政をしっかり監視し、市民にちゃんと報告すること、そして市民がその議員を普段から監視することが重要。議員と行政に緊張感を！



令和7年度予算 ふちがみ猛志の注目予算をPick up!!

子育て・教育

○ 日本語指導の予算大幅増

日本語指導が必要な子が10年で2倍以上、でも予算は横ばい。私の指摘に応え、7年度に一気に2倍超に。

△ スクールサポーター(※)処遇改善

時給800円から1000円に改善したが、依然として最低賃金(1114円)以下。あと一歩の改善を！

(※)教育活動を補助する地域支援員

× 増えぬ部活動の外部指導員(※)

教員の多忙化解消に重要だとされながら、昨年度から拡充なし。予算をつけさえすれば増やせるのに！

(※)部活動指導のために学校外から招聘したスタッフ

高齢者・医療

× 健康増進アプリ

議会の反対を押し切って始めた事業だったが、3年を経て口先だったことが発覚。(※詳細は右ページ参照)

○ ウィッグ・人工乳房等購入支援

がん患者の切実な想いに応えた事業。大変な立場にある市民に寄り添える堺市でありたい。

文化観光

△ 堺ミュージアム基本構想

老朽化、雨漏り、収蔵庫も満杯。博物館の建替えは必須。一歩前進は評価するが、もっとスピード感を。

× こども気球体験事業

古墳を見渡す気球に期待はするが、ガス漏れ以来、再開の目途がつかないのに、体験予算がなぜ先に？

× 大阪観光局への負担金

年間8000万円も出しながら、堺にどんな恩恵があるのか示せず。府の事業には無条件で金を出す？

地域・くらし

○ 特殊詐欺被害撲滅への取組強化

市民団体と協力してキャンペーンを展開。できれば子どもが加害者にならない取組も進めてほしい。

○ 戦後80年平和への取組

体験者が直接語りつぐことが困難になりつつある戦争の記憶。80年の節目に語りべ活動を拡充。

低学年ほど経済的負担感大？給食費無償化の段階的実施

今年度から堺市で小学校給食費が低学年から段階的に無償化されます。子育て支援の拡充はヨシとしますが、なぜ低学年から？それは「低学年ほど経済的負担感が強いから」だそうです。堺市教育委員会は、1年生がランドセル代などで教育費がかさむこと、低学年の保護者の方が平均年齢が低く、所得も低い傾向にあることを、その根拠としました。一般的に高学年ほど習い事は多くなるし、食費もかさみます。携帯代がかかることもあるでしょう。むしろ「高学年ほど経済的負担感が強い」というのが市民の感覚ではないでしょうか!?

それに低学年から始めると、今の5・6年生は施策の恩恵にあずかれず、逆に高学年からなら、現在の小学生全員が恩恵にあずかれます。公平・公正の観点からも理に適っています。高学年の方が児童数が多く、給食費も高いため、無償化には低学年より1億円多くかかります。結局はお金惜しさの判断なのでしょう。議会では私以外からも再考を求める声が相次ぎましたが、当局は耳を貸しませんでした。これに挫けず、おかしいものはおかしいと、市民感覚で声を上げ続けます。

【小学校給食費の無償化スケジュール】

令和7年度	1・2年生
令和8年度	1～4年生
令和9年度	全学年

反省なし？健康増進アプリでまたも再議

「アスマイル」は、歩数等の健康情報を記録・管理し、ポイントをもらえる健康増進アプリです。大阪府の事業で、私たちは府民として利用できるのに、あえて堺市が追加料金を負担することに3年前の議会で批判が噴出。議会はその予算をいったん削減しましたが、永藤市長は再議権(※)を行使して削減案を封殺し、アスマイルへの追加負担を強行。それから3年、当時主張した「追加料金負担のメリット」が、おおよそ何ひとつ実現していないことが、私の質疑で明らかに(下記参照)。私たちは改めて追加負担の削減を提案し、議会の過半数が賛成。しかし永藤市長は「次はうまくいく」根拠を示せぬまま、またも再議権を行使し、議会の1/3超を占める維新の数の力でゴリ押し。大阪府の事業には意地でもお金を出したいようにしか見えず、残念でなりません。

健康増進アプリ「アスマイル」の画面→

3年前に主張したメリット	明らかになった現実	しかも！
堺市民限定の特典を付与でき、登録者を増やせる	この2年間の登録者の増加は目標の半分以下	週1以上のアプリ利用者はほとんど増えず(利用率が減)
堺市民向けの情報発信・アンケートが可能	実施回数は可能な回数の半分以下(やる気なし)	システム不具合の連絡が大半(効果的発信なし)
健康データを入手・分析し、新たな施策に活用	分析はゼロ、新たな施策もゼロ(やる気なし)	提供を受けたデータはすでに破棄(やる気なし)

(※)再議… 首長が議会の提案・決定に不服がある時に審議のやり直しを求める制度。通常、1/2以上(過半数)の賛成で議案は可決するが、再議になると2/3以上の賛成が必要となる(ハードルが上がる)。言い換えれば1/3の反対で議案はつぶされてしまう。そのことから再議は「首長の伝家の宝刀」とも呼ぶが、安易な行使は議会(=民意)軽視と言える。

資源ごみの持ち去り防止に福祉の視点を

アルミ缶等の資源ごみを持ち去りを禁止する条例が施行。持ち去る際の騒音や敷地への立ち入り、堺市に入るはずのアルミ缶等の売却益が、持ち去った人のものになることを問題視してのことです。私は条例自体には賛成ですが、一般的に持ち去りをされる方は経済的に困窮している方が多く、単に禁止するだけでなく、就労支援や福祉につなげる配慮が必要です。当局は私の主張に同意しましたが、一方で啓発パトロール業務の委託先は、議会の議論に先立って警備会社を選定済みだと発覚。しかも、業務の仕様書に福祉的視点はなし。私はフライングでの選定は議会軽視だと指摘し、市長は議会への丁寧な対応が必要だと認識を示しました。

一時保護所が足りない!!

虐待等で家庭で暮らせなくなり、一時保護所に入る子が増加、長期化し、定員オーバーが常態化。ここ数年、一時保護所は増設を繰り返してきました。今年度、定員を30人から36人に増やすことになりましたが、2月末時点で定員を大きく超える43人が！たった6人ではなく、思い切って定員を増やすよう求め、「速やかに検討したい」と答弁。家庭で暮らせない子に、せめてその行った先でゆとりのある環境を作ってあげたい！